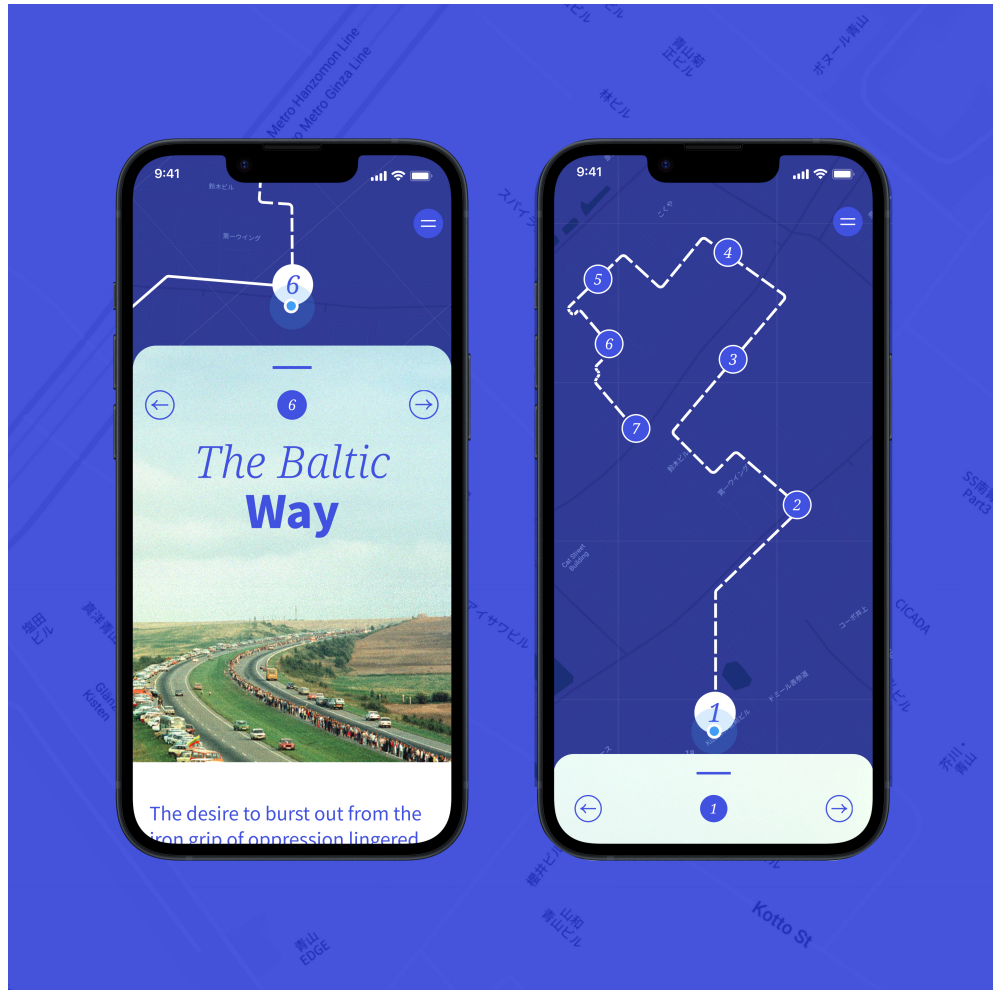


バルト三国ヒューマニスト写真展  
「Human Baltic われら バルトに生きて」で  
ARアプリを通して平和的デモ運動「バルトの道」を体験！5月27日から。

KOI NIPPON  
日付：5月14日（火）



NGO 団体KOI NIPPON は、2024 年5 月27 日（月）から6 月9 日（日）まで、スパイラルガーデン（東京都港区南青山5-6-23）にて、国内初となるバルト三国ヒューマニスト写真展「Human Baltic われら バルトに生きて」を開催します。展覧会に併せて、ARアプリ「バルトの道」をローンチします。同アプリケーションは5月27日（月）からアップルストアやグーグルストアで、ダウンロード可能です。

#### バルト三国で起きたヒューマニスト写真運動とは？

第二次世界大戦の影響で起こったヒューマニスト写真運動は、一人一人の人間性の重要さに光を当て、平和を推進してきました。バルト三国に生きたヒューマニスト写真家達は、宗教、性、貧困、国民のアイデンティティ、占領のトラウマなど、特定のトピックを撮影することを禁じられていました。しかし、あるがままの姿に焦点を当て

たいと考えた写真家達は、真の意図を隠さなければなりませんでした。そこで、視覚的な比喩や、隠れメッセージ、「イソップ言語（検閲を逃れるための特殊なコミュニケーション言語）」などを用いながら、ヒューマニスト写真家達は表現の自由、アイデンティティの自由、そして真実の記憶の自由のため、絶え間なく立ち向かいました。写真家の視点を通して、ソ連時代を生きたバルト三国の人々のありのままの姿を感じながら、人生の力強さ、優美さ、複雑さをご覧ください。



ロームアルダス・ポルジェルススキス シリーズ《バルトの道》より 1989



アイヴァース・リアピンシュシシリーズ《バルトの道》より 1989

## ARアプリ「バルトの道」

バルト三国の写真家による150点以上の写真作品、音声、ビデオなど様々なコンテンツを通して、バルト三国で起こった重要な平和的デモ運動「バルトの道」や「歌う革命」、「ロック・マーチ」など、文化を通じた連帯と非暴力の抗議運動を体験して頂きます。同アプリは会場周囲を約20分間歩くツアーで体験できます。無料でダウンロードでき、日英両言語で利用可能です。

### ※平和的デモ運動「バルトの道」とは

1989年8月23日、約200万人以上の人々が手を繋ぎ、エストニア、ラトビア、リトアニアを横断する690kmに及ぶ人間の鎖「バルトの道」を形成した、重要な平和的デモ運動です。

### 「バルトの道」歴史的背景

#### バルト三国で起きた文化的抵抗の勃興

数十年にわたるソ連支配の下で、バルト三国の人々は、自分たちの文化的アイデンティティや個人の自由が抑圧されることに、次第に疲弊していきました。それに対して、人々は受動的な抵抗の一環として、文化的・ゲリラ的なイベントを組織し、参加するようになりました。これらの活動は、ブック・クラブから隠れたアート展示などに始まり、次第により公に反対の意を表明するものへと発展していきました。自国の遺産を守り、自分達の意志で運命や行動を決定する権利を主張したいという願望は、その後のより大きな運動の基盤となりました。これらの奮闘は、単に国家的アイデンティティを取り戻すだけでなく、独立と民主的な統治に対する集団的な切望を表明するものでした。



カリユ・スール シリーズ《バルトの道》より 1989

## 音楽を通したデモ運動「歌う革命」

1980年代後半、エストニア、ラトビア、リトアニア全土に広がった平和的抵抗の力強い出来事が「歌う革命」です。数十万人が集まる大規模な音楽の祭典は、国民のアイデンティティと抵抗を訴える場となりました。これらの祭典は単なる音楽イベントではなく、ソ連の抑圧に対する団結の記念碑的なデモ運動でした。

また、主にリトアニアで起こった「ロック・マーチ」は、1987年にソ連の権威に対する大胆な挑戦として始まり、ロックの力と政治的活動を融合させました。この一連のコンサートでは、風刺的な歌詞と演劇的センスを盛り込んだバンドが演奏し、ソ連の支配に反対する若者運動を象徴しました。



ロームアルダス・ポルジェルスキス シリーズ《バルトの道》より 1989



ティート・ヴェルマーエ シリーズ《バルトの道》より 1989

## 空からの賛辞と大量の花

1989年に起きた「バルトの道」の同日、2機の小型AN-2飛行機は、市民が手を繋いで連帯を示した道の上に花をまくという特別な任務を負いました。運搬の困難があるにも関わらず、心のこもったメッセージが添えられた花束とともに、デモ参加者に敬意を表して空中投下されました。

## プレス内覧会

日時：5月27日（月）18:00～20:00（受付開始：17:30～）

報道関係者を対象に、プレス内覧会を実施いたします。

ご多忙のことと存じますが、ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

ご希望の方は下記フォーマットにご記入ください。

<https://forms.gle/N6E313Bk9vBauhfw8>

## 広報用画像

公式サイトまたは以下からダウンロードください。

[https://drive.google.com/drive/folders/1wEalYerk3WHp5-RzlgmyNBCLbrG2z\\_Ck?usp=share\\_link](https://drive.google.com/drive/folders/1wEalYerk3WHp5-RzlgmyNBCLbrG2z_Ck?usp=share_link)

- ・作家名、作品名、年代を必ず掲載してください。（キャプションは、画像のタイトルに記載のものをご掲載ください）
- ・画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなどの画像の加工はできません。

## プレスお問い合わせ先

PR担当（菊池）

メールアドレス：[hiromi@koi.lt](mailto:hiromi@koi.lt)

## 展覧会概要

会期：2024年5月27日（月）から6月9日（日）

会場：スパイラルガーデン（スパイラル1F）（東京都港区南青山5-6-23）

開場時間：11:00 ～ 20:00

※5月27日（月）のみ開場16:00～

チケット：無料

主催：KOI NIPPON、ISSP Latvia、Juhan Kuus Documentary Photo Center

助成：Baltic Culture Foundation、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル

東京 【芸術文化魅力創出助成】、東芝国際交流財団、Lithuanian Council for Culture

提供：SIGMA、Artglass

メディアパートナー：ENCOUNTER MAGAZINE

公式ウェブサイト：<https://humanbaltic.com/ja/>

公式SNS：X @humanbaltic, Instagram @humanbaltic, Facebook 「Human Baltic」

## **ARアプリ「バルトの道」概要**

開始時期：5月27日（月）～ 6月中

価格：無料

ダウンロード：アップルストア、グーグルストア

## **関連イベント概要**

### **パネルディスカッション「写真に潜むダブル・スピーク（二重表現）」**

同時代の日本の写真との比較を通して、バルト三国と日本の写真家が、目紛しい変化の中でどのように社会を記録したか探求します。戦後、急速な近代化を遂げた日本の写真家たちは、バルト三国の写真家達と同様、伝統と進歩のせめぎ合いを捉えてきました。これらのパネルディスカッションでは、レンズを通して日常生活を写し出す力強さに焦点を当て、日本とバルト三国の写真表現の伝統と、時代が芸術表現に与える影響力に関して模索します。

日時：5月30日（木）18：00～20：00

チケット：無料

### **ウクライナ難民支援チャリティーオークション**

ウクライナ難民支援のお役に立てるよう、チャリティーオークションを行います。同オークションでは、ラトビア、リトアニア、エストニアのキュレーターが、バルト三国のヒューマニズム写真作家による30点以上の作品を紹介、参加者はプリント作品を購入することが出来ます。オークションでの収益金はウクライナ難民支援を実施している非営利組織に寄付します。

日時：6月4日（火）18：00～20：00

チケット：無料